

おれんじの屋根

施設長より

「老舗の味」を受け継ぐ

以前、NHKのBS2で、東京で古い街並みが残る谷中を紹介する番組があり、老舗のパン屋さんの3代目を継いだ若者が「初代の味を受け継がなければいけない。」と語ったら、側にいた祖父（初代）が即座に「伝統を守るためには変えなければだめだ。」の一言。老舗の味や伝統を受け継ぐということは、伝統をただ墨守（ぼくしゅ）するのではなく、時代や社会の変化にしなやかに合わせ、少し変えたり、ときには大きく変えたりしていくことなのかと。なかなか味のある孫と祖父の会話でした。

さて、熊本市手をつなぐ育成会も今年で65年。立派な老舗です。昨年度は1年をかけて「中長期計画・ビジョン」を策定し、これからの会として取り組むべきことがらを明らかにしました。これをもとにした新しい取り組みもスタートしており、その中には、会の継続・発展のために“変える”取り組みもたくさん入れています。

一例が、11月13日（土）に開催した育成会職員全体研修会。この研修は、職員の資質や支援の向上に不可欠なものとして、年1回実施していますが、今回は、「中長期計画・ビジョン」に沿って、各事業所からの代表4人に企画段階からお願いをしました。

コロナ禍の中、今回は、しょうぶの里、第二ぎんなん作業所、子ども育ちの家「て・い・く」の各事業所に分散して、オンラインで研修を行う方法を初めて採りました。しかも、原則、自分の勤務場所以外に出かけるようにしたことで、初めて別のところに行く職員も多く、それぞれの事業所がどんなところで、どんなことをして

いるのか、自分の目で見て知り理解することが少しできた。これも今回の研修の大きな意義であり、研修の担当者を変えたことの成果だと思っています。研修内容も含めて、今までと少し違う新鮮味のある研修会でした。

このように、今までやっていたことを、別の人が担う、やり方も変えてみる。これも、先ほどの“老舗の生き残り戦略”のとおりだと思います。利用者さんへのよりよい支援のためには、固定的な観念や見方を捨てて、新しい視点や別の角度から見てみることも重要だと考えています。社会や時代の変化の中で、会では、就学中の子どもの親さんなど、若い世代の会員が減少しています。これも一つの社会や時代の波でしょうし、その波を受けて沈んでしまわないよう、さまざまな工夫や新しい取り組みをもっとしていかなければならないと思っています。

ところで、今はSNSが情報のやりとりの中心となる時代。会長や私たちも完全に乗り遅れていますので、SNSを使いこなして今の親さんたちとつながれるよう、遅ればせながら習熟した方を講師に招いて勉強を始めたところです。これも、中長期計画・ビジョンを受けた変わるための取り組みの一つ。めげないように頑張ろうと思っています。



書き遊ぶ 「トンボの力(ちから)」

ゆうゆう会会長の瀬上です。コロナ第6波は1,2月に来ると多くの医学関係者が言っているのでくれぐれもご用心ください。



あるテレビ番組でコメンテーターの昆虫博士が、「蚊はトンボを見るとバケモノがいると怖がって近寄らない」と話していたので、ペットボトルに黒マジックでトンボの絵を描いてハサミで切り、庭の枝3ヶ所に針金で下げてみました。ほんの冗談のつもりでした。

不思議なことに今年の夏は全然蚊に刺されなかったのです！ 例年だとちょっと庭に出ただけで多くの蚊に囲まれて刺されていたので、まるで嘘のようでした。妻は異常な暑さが続いたせいだろうとあまり気にしていませんでした。

さて、パラを育てている知り合いが蚊には閉口していると言ったのですぐペットボトルトンボの作り方を教えました。次に会った時、本当に蚊がいなくなったと言うではありませんか。テレビのニュースでもキャンプ用にトンボのフィギアを売っているそうです。もし本当にこんなもので蚊を追い払えるのなら誰も殺虫剤を買わなくなるかも・・・。



第5回 熊本市手をつなぐ育成会 職員全体研修会

「第5回熊本市手をつなぐ育成会職員全体研修会」が、令和3年11月13日（土）に行われました。

講師に心理セラピスト上通並木坂アスナサの恒松陽子氏、前平成学園園長西田昭雄氏をお迎えして講演をしていただきました。

恒松氏のストレス社会でのリラクゼーション法や、気持ちの持ち方、切り替え方等のお話、また西田氏はこれまで関わられた障がい児、障がい者の方々の経験談等の講義をいただき、とても勉強になりました。

また今回はコロナ禍での開催ということで密集をさけるため、同法人内の第二ぎんなん作業所、子ども育ちの家で・い・く、そしてしょうぶの里の3会場を結んでのオンラインによる研修会となりました。

初めての試みでオンラインの接続や資料の配信など当日朝までアクション続きで、ドキドキハラハラの研修会でした。



熊本市手をつなぐ育成会

給食室より

12月 イベントメニュー

12月 3日 誕生会
リクエストメニュー（昼食）

12月 24日 クリスマスメニュー

12月 28日 リクエストメニュー（昼食）



冬至と柚子

冬至までひと月足らずのこの時期に、大振りの白菜や大根、海産物やミカン等のおいしい食材がスーパーにたくさん並びます。その中に柚子があります。直接食するには酸味が強すぎて適さないが、独特の香気と酸味や果皮の色合いから日本料理には欠かせない食材です。

果汁や果皮には多くのクエン酸やビタミンCが含まれていることが知られています。

「冬至に柚子湯」というのは肌の保水性や乾燥肌を守ることも期待できますから理にかなっています。

栄養士 齋藤憲子

医務室より

インフルエンザ予防接種について

令和3年11月4日に、夢眠熊本西クリニック（旧 池田内科）様の往診により、入所利用者さんのインフルエンザ予防接種を無事終えることができました。

新型コロナウイルス感染症ワクチンについて

新型コロナウイルス感染症の3回目のワクチン接種を来年2月か3月に予定しております。詳しい日程はまだ決まっていません。決まり次第お知らせいたします。

現在、熊本県下では感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナが流行しているようです。

今回は手足口病についてご説明します。

手足口病はウイルスに感染することによって発症します。発熱、咳、鼻水、嘔吐や下痢などの風邪症状と、その名のとおりに、手・足・口に発疹が現れる点が特徴です。発疹は肘・膝・お尻にも出ることもあります。通常、症状は3日～1週間程度で回復します。感染者の9割は5歳未満の幼児ですが、最近では大人の感染者も増えているということです。

《12月の行事予定》

- ☆ 2日（木） 訪問歯科
- ☆ 3日（金） 誕生会
- ☆ 6日（月） 職員会議 給食委員会
黎明ライオンズ主催忘年会
- ☆ 7日（火） 訪問リハビリ
- ☆ 9日（木） 訪問歯科
- ☆ 14日（火） 訪問リハビリ
- ☆ 16日（木） 訪問歯科
- ☆ 17日（金） 20周年withクリスマス忘年会
- ☆ 21日（火） 高野病院訪問診療
訪問リハビリ
- ☆ 23日（木） 訪問歯科
- ☆ 28日（火） 御用納め

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

もうすぐ12月。我が家はこの時期、イベントごとやお祝い事が目白押しのため、一番忙しく、そして一番好きな月です。

というのは子どもたちが幼い頃の話で、今はそれぞれの手立てがあり、寂しい思いをしています(´_`)

現在は新型コロナウイルス感染症の新規感染者数もゼロの日が多くみられるようになり、今年の年末は少しは楽しめるのかなあとかかっています。しかし、ここで気を緩めたりすると元の木阿弥なので、感染症対策には十分に気を遣って、年末のイベント等を楽しみたいと思っています。

街のイルミネーションやクリスマスソング等、心ウキウキ、おくくします。(^^)

～～第55号～～

令和3年11月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

